

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

長野県

学校名

安曇野市立三郷中学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・ 学校生活や日常生活における他者との関わり方について、会話のスキルを身につけることを通してよりよくコミュニケーションをとろうとする態度を育てる。
- ・ 誰に対しても差別や偏見なく、公正、公平な態度で接しようとする態度を育てる。

実施した内容

- ・ いじめに関わる当事者の話を聞くことをとおし、自分たちができることを考え合う学習活動を進めた。また、生徒会と連携した「いじめ0宣言の日」の取組を充実させた。
- ・ 自分の思いの伝え方として「アグレッシブ」「ノンアサーティブ」「アサーティブ」の3つがあることを学び、自分の気持ちを表現する方法を学ぶなど、コミュニケーション能力の向上を図った。

工夫した点

- ・ 「学び合い」を大切にした学習活動を展開した。また、生徒会活動と連携して「いじめ0（ゼロ）宣言」の作成を進めていけるよう、特別活動部会にて取組について検討を重ねた。
- ・ 生徒一人ひとりがコミュニケーション能力の向上につながられるよう、時間に遅れる、約束を守らないなど、身近にありがちな具体的な場面を例に、気持ちの伝え方について考える機会を設けた。

他教科との
関連

- ・ 道徳 内容項目 B (9) 相互理解、寛容 1年「私の話を聞いてね」 2年「ジコチュウ」 3年「ソーシャル・ビュー見えない人と楽しむ美術鑑賞」

事業成果

- ・ 知識的側面：学習を通して、他者の思いを尊重しつつ自分の思いを伝える表現方法を知ることができた。
- ・ 価値・態度的側面：身につけたスキルを生活の中で実践していこうとする意識が向上した。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

長野県

学校名

安曇野市立三郷中学校

人権課題

アイヌの人々

対象学年・
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

身近な人・こと・ものとの関わりをもとにドリームマップを通して、自分の夢や将来の生き方について考えてきた生徒が、新たなつながりとして、今を生きるアイヌの人々の伝統や文化、暮らし、思いなどに触れ、探究していくことで、自分の将来の姿を改めて見つめ直し、これから大切にしていきたいことを表現することができる。

実施した内容

- ・アイヌ民族の文化や伝統、暮らしなどの探究学習
- ・今を生きるアイヌ民族の関根摩耶さんとの交流。
- ・アイヌ民族の伝統的な考え方や関根さんとの関わりを基に、自分なりの生き方を考える。

工夫した点

- ・アイヌ民族の差別やそれに対する運動を、単なる歴史的な事象という感覚でとらえるのではなく、自分事に置きかえて考えられるように、今を生きるアイヌ民族の関根さんとの直接交流を行った。
- ・交流場面では、生徒がアイヌ民族の若者としての関根さんの姿や思い、考えに触れられるように、レクリエーションを用いたり、自由な対話時間を設けたりした。

他教科との
関連

- ・社会科・総合的な学習の時間

事業成果

知識的側面：学習を通してアイヌ民族の生き方や文化、思想について知ることができた。
 価値・態度的側面：生徒自身がアイデンティティーの大切さに気づいたり、自分自身の生き方や他者理解の必要性を感じたりすることができた。